

## 事務事業マネージメントシート

作成日 令和2年 04月 23日

事務事業名	真岡市美術展開催事業				担当	教育委員会 文化課 文化振興係				
政策名	B 学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				増補版施策名					
施策名	6 文化芸術の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業					
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	社会教育法						<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成6年度～)			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	8.芸術文化振興費			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )			
事業概要	真岡市美術展は、優れた美術品を直接鑑賞する機会を設け、市民に美術に対する关心を深めてもらうことを目的に、毎年主に秋に開催している。 文化芸術アドバイザーの指導のもと、毎回テーマを設定し、市民の所有する美術品を出品してもらい展示する。併せて、市所蔵の美術品も公開展示している。 平成22年度まで金鈴荘で開催していた。 平成23年度から25年度は東日本大震災により金鈴荘が損壊したため、青年女性会館で開催した。 平成26年度は久保講堂で実施した。 平成27年度から久保記念観光文化交流館美術品展示館で実施している。									

### 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
31年度実績	ア: 出品作品数	点	30	38	46	79	50
6月：文化芸術アドバイザーと打合せし、展示テーマを決定 7月～8月：開催PR、目録・キャッシュ作成 10月：会場設営、作品搬入・展示、開催、作品搬出・撤収 ・日 時：10月10日(木)～14日(月)5日間 ・会 場：久保記念観光文化交流館 美術品展示館 ・テーマ：「我が家の大蔵展 - 絵画と酒器 - 」 (10/12、13は、台風により臨時休館)	イ: 開催日数	日	12	10	5	3	11
2年度計画	ウ:						
実施方法については、前年同様 ・日 時：10月8日(木)～19日(月)11日間 ・会 場：久保記念観光文化交流館 美術品展示館 ・テーマ：未定	エ:						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
市民	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア: 市民数	人	79,422	79,542	79,414	79,324	78,874
	イ:						
	ウ:						
	エ:						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
市民の美術に対する関心を高める。	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア: 入場者数	人	1,283	1,058	721	214	1,000
	イ:						
	ウ:						
	エ:						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
文化活動への市民参加の拡充と文化芸術の普及	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア: 文化芸術に関心・興味のある市民の割合	%	62.9	62.3	61.7	63.2	65.0
	イ:						
	ウ:						
	エ:						

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	財源内訳	県支払金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	255	200	161	101
		事業費計(A)	千円	255	200	161	101
人 件 費	正規職員従事人數	人		2	2	2	2
	延べ業務時間	時間		127	127	127	181
	人件費計(B)	千円		527	529	513	732
トータルコスト(A)+(B)		千円		782	727	690	614
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?	従来、県立美術館から作品を借用し開催していたが、平成6年度の市制施行40周年記念事業「わが家秘蔵の美術展」を契機に開始した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成14年度までは年に2回実施してきたが、15年度からは1回としている。平成27年度で、第29回を数える。 東日本大震災による金鈴荘の損壊により、平成23年度から平成25年度は青年女性会館で開催している。 平成26年度は久保講堂で実施。H26年度に久保記念観光文化交流館美術品展示館が整備されたので、平成27年度以降は、久保記念観光文化交流館美術品展示館で実施していく。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・入場者からは、毎年楽しみに来場しているとの声がある。

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の文化芸術の普及振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の文化芸術の普及振興は、行政の役割である。(社会教育法第5条:市町村の教育委員会の所管事項に規定されている。)
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民の文化活動への意識の高揚を図ることは適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市民の所有する美術品を展示する機会を設け、市民の関心を高めてもらうものであり、入場者も多い。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民の美術鑑賞の機会が少なくなり、文化芸術の振興が图れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 市民参加型の美術展は本展のみである。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会場の設営、目録、キャブションの作成等は職員が行っており、必要最小限の経費で実施しているため、更なる事業費の削減はできない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 準備作業(目録、キャブション、印刷製本費等)や会場設営等は、必要最小限で対応している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化芸術の普及振興を図るため、全市民を対象に実施しており、公正公平である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画)	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か?それをどう克服していくか?		

## 4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	
(4) その他2次評議会議で指摘された事項		